【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】令和6年6月18日(2024.6.18)

【国際公開番号】WO2022/003068
【公表番号】特表2023-531056(P2023-531056A)
【公表日】令和5年7月20日(2023.7.20)
【年通号数】公開公報(特許)2023-135
【出願番号】特願2022-580003(P2022-580003)
【国際特許分類】
A24F 40/53(2020.01)
A24F 40/40(2020.01)
【FI】
A24F 40/53
A24F 40/40

【手続補正書】
【提出日】令和6年6月10日(2024.6.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
エアロゾル形成基体からエアロゾルを発生させるためのエアロゾル発生装置であって、前記エアロゾル発生装置が、使用セッション中に前記エアロゾルを発生するように構成され、前記エアロゾル発生装置が、
二つの発光ユニットを有する発光インジケータであって、前記発光インジケータが、前記使用セッション中に少なくとも四つの異なる表示モードのうちのいずれか一つを表示するように構成される、発光インジケータと、
前記発光インジケータを制御して、前記少なくとも四つの表示モードのうちのいずれか一つを表示して使用セッションの進行を示すように構成されたコントローラと、を備え、
前記使用セッションが、少なくとも四つの連続的な段階を含み、
前記少なくとも四つの連続的な段階のうちのいずれかまたはその各々が、タイマーによって判定される最大段階持続時間を有し、
前記エアロゾル発生装置が、前記使用セッションがタイマーによって判定される最大使用セッション持続時間を有するように構成され、前記エアロゾル発生装置が、前記使用セッション中に少なくとも一つのユーザー相互作用パラメーターを記録するように構成され、前記少なくとも四つの連続的な段階のうちのいずれかまたはその各々の段階持続時間が、前記ユーザー相互作用パラメーターが所定の閾値に達した場合に、前記最大段階持続時間より短い持続時間を有する、エアロゾル発生装置。
【請求項２】
前記エアロゾル発生装置が、前記使用セッションがタイマーによって判定される最大持続時間を有するように構成されている、請求項１に記載のエアロゾル発生装置。
【請求項３】
前記エアロゾル発生装置が、前記使用セッション中の前記エアロゾル発生装置の使用を示すユーザー相互作用パラメータを監視するように構成されている、請求項１または２に記載のエアロゾル発生装置。
【請求項４】

前記使用セッションが、前記ユーザー相互作用パラメータが所定の閾値に達した場合に終了するように構成されている、請求項３に記載のエアロゾル発生装置。
【請求項５】
前記ユーザー相互作用パラメータが、前記使用セッション中に行われたユーザー吸煙を示す、請求項３または４に記載のエアロゾル発生装置。
【請求項６】
前記コントローラが、前記発光インジケータを制御して、前記少なくとも四つの連続的な段階の各々の間に、前記少なくとも四つの表示モードのうちの異なる一つを表示するように構成されている、請求項１～５のいずれかに記載のエアロゾル発生装置。
【請求項７】
前記少なくとも四つの連続的な段階が、少なくとも五つの連続的な段階を含む、請求項１～６のいずれかに記載のエアロゾル発生装置。
【請求項８】
前記少なくとも四つの連続的な段階のうちのいずれかまたはその各々が、段階開始および段階終了によって判定される段階持続時間を有する、請求項１～７のいずれかに記載のエアロゾル発生装置。
【請求項９】
前記少なくとも四つの連続的な段階のうちのいずれかまたはその各々が、前記段階が早期に終了していない場合、監視された期間が前記段階の所定の閾値に達した時に終了する、請求項１～８のいずれかに記載のエアロゾル発生装置。
【請求項１０】
前記エアロゾル発生装置が、前記使用セッション中の前記エアロゾル発生装置の使用を示すユーザー相互作用パラメータを監視するように構成されている、請求項１～９のいずれか一項に記載のエアロゾル発生装置。
【請求項１１】
前記少なくとも四つの連続的な段階のうちのいずれかまたはその各々の前記持続時間が、前記ユーザー相互作用パラメータを参照して制御される、請求項１０に記載のエアロゾル発生装置。
【請求項１２】
前記ユーザー相互作用パラメータが、前記使用セッション中に行われたユーザー吸煙を示す、請求項１０または１１に記載のエアロゾル発生装置。